



やなぎ美智子からののお便り

メールアドレス：kangoshi03@outlook.jp

やなぎ携帯：090-1508-7120

「市川生活と健康を守る会」（市川生健会）は発足4年目を迎えました。これまで、相談会、学習会に取りくんできました。

岸田政権は、社会保障改革を次々とすすめています。社会保障の財源は、国民が負担するのが当然と、「自助・共助・互助」と、「公助」がすっぽり抜け落ちていきます。

参加者は「学習を今後の活動に活かしていきたい」と語っています。



竹内氏の話を聞く参加者の皆さん

どうなる？ 社会保障 医療・介護・子育て・年金など

第一部 社会保障の学習会 第二部 第四回生健会総会

6月15日 勤労福祉センター

講師 竹内 敏昭氏 社会保障推進千葉県協議会事務局長

2024年原水爆禁止国民平和大行進



一歩でも二歩でも、と一緒に歩きませんか

市川行進 7・24（水）

<主な予定時間>

- 出発集会 9:00~9:30
中央図書館前（メディアパーク）
市内行進
- JR本八幡駅北口着 10:00
- 宣伝・パフォーマンス
本八幡駅北口 10:00~10:30
- 東京への引き継ぎ 10:30~10:45

核兵器のない世界を！戦争のない日本を子どもたちに！

日本共産党創立102周年 市川浦安地区委員会事務所移転
（事務所は市川真間2-1-4に移転しました）

Q&A 記念講演会

市田 忠義さんに聞いてみよう

日本共産党副委員長 前参議院議員

7月20日（土）10時~11時半
市川市文化会館 地下大会議室
（ローズルーム）

お誘い合わせて、ぜひご参加ください



市役所第一庁舎の2階に展示されている千羽鶴
平和への願いを込めて、市民の皆さまが折られた千羽鶴を、広島・長崎で開催される、平和式典へ送呈しています。

無料法律相談 8月13日（火） 9月10日（火）

午後2時~5時 相談時間は一人30分

市役所第一庁舎6階 日本共産党控室 相談を希望される方は事前予約が必要です。
市役所共産党控室か、やなぎ美智子にご連絡ください。

電話：047-334-1111（内線 18220）



6月18日 定例市議会一般質問を行いました

○インボイス制度について

【問】市内業者のインボイス登録状況に関する市の認識について伺う。

【答】法人事業者5087件の9割、約4600件と、個人事業者2928件の7割、約2050件、合計で約6650件が登録したと考えられます。そのうち、これまで免税業者であった事業者のうち約2200件が、新たに課税事業者となったと考えられます。

【問】事業者への支援の現状、今後について伺う。

【答】制度の仕組みや、特例措置の内容について、市川商工会議所等の関係機関との連携を通じ、各事業者に広く周知し、適切な判断ができるよう支援していきたいと考えています。

【要望】現在、負担軽減措置が実施されているが、特例措置がなくなれば、事業継続の見通しが立たず、廃業や転職を考えざるを得ないとの悲痛な声がある。市が、生業が継続できるよう支援をすること、国に対して、インボイス制度の見直し、廃止を要望するよう求める。

○コールドシニア外出支援事業「チケット75」について

【問】令和5年度の申請方法、申請状況、利用状況と令和6年度の申請方法と申請状況について伺う。

【答】令和5年度は、市役所第一庁舎、行徳支所、大柏出張所の3カ所に受付窓口を設置しました。紙による申請書提出、郵送、オンライン申請の3種類で開始しました。窓口で7167人、郵送で1079人、オンラインで5187人の申請を受け付けました。

令和6年度は、5月31日、第一次締め切りで、今年度の上限定15000件に達していないので、上限に達するまで、6月1日以降も受付を継続しています。

【要望】6月1日以降も、受付を継続していることを、広く周知していただくよう求める。



○精神障がい者に対する旅客鉄道運賃の割引に関する市の認識について

【問】制度の概要を伺う。

【答】障がい者手帳を持つ方の鉄道運賃を割り引く制度が、精神障がい者手帳を持つ方に拡大されます。令和3年6月に国土交通省から発表された「真の共生社会実現に向けた新たなバリアフリーの取組み」の中で「公共交通機関における精神障がい者割引の導入促進」が掲げられたことを契機に、今回の拡大につながったと考えます。

6月1日から京成電鉄、新京成電鉄、北総線が、8月1日から東京メトロが、令和7年4月からJRや関東の私鉄各鉄道事業者が開始するとの報道です。

【問】本市の対象者数を伺う。

【答】令和6年3月末時点で、精神障がい者保健福祉手帳の交付者数は、5368人です。令和5年3月末の、5032人と比較すると、336人増となっています。

【問】想定される課題、理解を深めるための広報・周知について伺う。

【答】今回の割引制度の情報が対象者に行き渡らないことが懸念されます。「障がい福祉ハンドブック」や、市公式ウェブサイトなどで周知を図っていきます。当事者団体等へも、国、県、鉄道事業者からの情報を収集し、適切な情報提供に努めていきたいと思っています。

紹介議員となった請願2件、提出した発議1件は、賛成少数で否決されました

- 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての請願（賛成11人）
- 選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての請願（賛成11人）
- イスラエルに対しガザへの侵攻中止と即時停戦を求める決議（賛成15人）

